テーマは 「優しさ」 福祉について考えます。 優しさ通信ＮＯ. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

平成３１年３月の優しさ通信

目次

（１）高齢者向け賃貸住宅　安いほど要介護者流入
（２）精神障がい者に「就労パス」　私の「強み・苦手」伝える
（３）バリアフリー充実訴え　障がいある高校生プレゼン大会
（４）点字　みんな読めるね　凹凸に片仮名を重ね合わせ・・・
（５）ｉＰＳ、再生医療「中核」へ
（６）介護離職防止をサポート　料金高めも個別対応で需要
（７）加齢で鈍る原因解明　阪大
（８）遺伝子薬　国内初承認へ　足の血管再生・白血病
（９）目の難病、３月から治験　京大
（１０）認知機能低下招く虚弱防げ　高齢者、たんぱく質多く
（１１）電動自転車　高齢者事故多く
（１２）踏切死亡事故　高齢者 53%　５年分調査　運輸安全委

今月の福祉用具－起居関連用具　その３　ベッド　その３　ベッドの機能

（１）高齢者向け賃貸住宅　安いほど要介護者流入

公的支出　膨らむ懸念

・サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）では、家賃月８万円未満の安い住戸は多くの介助が要る「要介護３以上」の入居者が５割を占めています。
・特別養護老人ホーム（特養）が対応すべき低所得で体が不自由な人が流入しています。
・サ高住は国が 2011 年に作った制度。
・安否確認などの要件を満たした民間賃貸住宅を自治体が登録。
・ 2018 年末時点で全国に約 7200 棟、238,000 戸が存在。
・入居者は介護事業者と契約しますが、実際は介護拠点を併設し、事業者が同じケースが多くみられます。
・職員不足で受入れを抑える特養が目立ち、全国に 30 万人の待機者。
・サ高住の家賃の平均は約 106,000 円。
・要介護 3 以上の住民の比率は 34%。
・８万円未満の同比率は 48%。14 万以上は 20%。

“たろうの店　きごころ”　山忠木材株式会社
大阪市大正区千島３－１８－９　ＴＥＬ０６－６５５２－０７８１

・８万円未満の物件に住む要介護３以上の比率は首都圏が 64%、関西圏が 57%。
・家賃を下げた分を介護報酬で補うモデルが広がっている懸念。

※サービス付き高齢者向け住宅（サ高住） 手厚い補助金で急増

・入居者の見守りや生活相談サービスを備えた民間の賃貸住宅。
・2011 年の高齢者住まい法改正により、複数の形態があった高齢者向け住宅を束ねる形で誕生。
・入居要件は 60 歳以上か、要支援・要介護の認定者。
・バリアフリー構造で、居住部分の床面積が 25M2 以上、キッチンなどの共用部が十分なら 18M2 以上といった基準を満たす必要があります。
・通所施設や訪問介護の事業所を併設し、実質的に介護施設のような運営をしているケースも多くあります。
・行政の規制対象にはならない物件が大半。
・国は広さに応じて１戸当たり上限 90 万～135 万円の補助金を出すなど、手厚い支援措置で建設を促してきました。
・大阪府（2018 年末で約 26000 戸や北海道（約 19000 戸）に多くあります。
（2019 年２月３日 日本経済新聞より抜粋・引用）

（２）精神障がい者に「就労パス」

私の「強み・苦手」伝える 厚労省、職場定着後押し

・精神障がい者の就労拡大に向け、厚生労働省は 2019 年度、得意作業や職場での留意点などを記した「就労パスポート」を導入。
・就労パスは、ハローワークや NPO が運営する就業支援機関と障がい者本人が書き込む内容を話し合います。
・セールスポイントを記載。本人が理解しやすい指示方法のほか、ストレスを感じる状況など体調管理で配慮が必要な点を書く項目も設けます。
・2017 年時点で民間企業で働く障がい者は約 496,000 人。このうち精神障がい者は約 50,000 人で増加傾向。
・2018 年施行の改正障害者雇用促進法では、職場での雇用義務対象に精神障がい者が加わり、今後も増加か見込まれます。
・2013 年時点で精神障がい者の平均勤続年数は４年３か月。身体障がい者の 10 年０か月、知的障がい者の７年９か月に比べ短くなっています。
・精神障がい者は外見から障害が分かりにくく、周囲の配慮が得られにくいことなどを要因として指摘。
（2019 年２月４日 日本経済新聞より抜粋・引用）

ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

（3）バリアフリー充実訴え　障がいある高校生プレゼン大会

手すりロボ開発など提案

・肢体不自由特別支援学校の高校生が自分の意見を発表する初の「プレゼンカップ全国大会」が開催。
・飛行機に多目的トイレを設置することや、移動式手すりロボットの開発を提案。
・大会は肢体不自由特別支援学校の校長会が主催。
（2019 年 2 月 6 日　日本経済新聞より抜粋・引用）

（4）点字　みんな読めるね　　凹凸に片仮名を重ね合わせ・・・

区役所や企業、案内板に

・視覚障がい者が指で「読む」点字の凹凸にカタカナやアルファベットを重ね合わせ、目の不自由な人も健常者も意味が理解できる独特のデザインがジワリと浸透し始めています。
・東京都渋谷区役所が案内板に採用。広島、岡山県庁から問い合わせが。
・発案したのは東京都のデザイナー。
・昨年 3 月に自身のツイッターで紹介すると国内外から「点字を学ぶのに役立つ」「盲学校に通う子供の教材が読めるようになれたらうれしい」と多くの反響。
（2019 年 2 月 6 日　日本経済新聞より抜粋・引用）

（5）ｉＰＳ、再生医療「中核」へ

脊髄損傷　回復に挑む　　慶大の計画了承、秋にも移植

・厚生労働省は、ｉＰＳ細胞を使って脊髄損傷を治療する慶応義塾大学の臨床研究を了承。

安定供給、企業と連携課題

・現在はｉＰＳ細胞の作製に品質の検査などで数千万円かかります。

※脊髄損傷　　外傷で重い障害、国内 10 万人

・背骨の中心部を通る太い神経組織が脊髄で、脳からの指令を手足に伝える神経が集まります。
・無意識に動く筋肉が働きにくくなり、排便や排尿で苦労します。

“たろうの店　きごころ”　　山忠木材株式会社
大阪市大正区千島３－１８－９　ＴＥＬ０６－６５５２－０７８１

ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

・自律神経の働きが弱まり、血圧や体温の調整も難しくなります。
・国内で毎年 5000 人が新たに患者となり、延べ 10 万人以上の患者。
・原因は交通事故や転落のほか、スポーツによる外傷など。
・ 30 歳以下の若い世代が目立ちます。
（2019 年 2 月 19 日　日本経済新聞より抜粋・引用）

（６）介護離職防止をサポート　料金高めも個別対応で需要

・法人向けの介護離職防止サービスが増えています。
・ＳＯＭＰＯリスクマネジメント（東京都）が提供する「ゼロ・リザイン」:
　介護保険制度の内容など一般的な質問に無休で答える「クイック相談窓口」に加え、「じっくり相談窓口」も。
　相談時間は 1 回 1 時間、1 案件につき 3 回まで対応。
　従業員 6000 人までの企業で、「じっくり相談」の上限が年 10 件の場合、年間料金 96 万円。
・リクシス（東京都）の「ＬＣＡＴ」:
　従業員の介護離職リスク診断と、介護に関する情報発信をセットで提供。
　利用料金は従業員 2000 人で年間 200 万円。
（2019 年 2 月 20 日　日本経済新聞より抜粋・引用）

（７）加齢で鈍る原因解明　　阪大

細胞の新陳代謝　オートファジー

・大阪大学は、「オートファジー」と呼ぶ細胞内の新陳代謝の機能が年齢と共に下がる原因を解明。
・ブレーキ役のたんぱく質「ルビコン」が増えていました。
・ルビコンを抑えると寿命が延びたり老化による運動機能低下が改善。
・ 2019 年度にスタートアップを設立し、健康寿命を延ばす医薬品や食品の開発を目指します。
（2019 年 2 月 20 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

テーマは 「優しさ」 福祉について考えます。 優しさ通信ＮＯ． 5

ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

（８）遺伝子薬　国内初承認へ　　足の血管再生・白血病

日本勢、欧米に後れ

・体内に遺伝子を入れて病気を治す「遺伝子治療薬」が今年５月にも日本で初めて登場する見込み。
・血管再生で承認されたのは「コラテジュン」。重症の動脈硬化で血管がつまった足に、新たな血管を作る遺伝子を注射して治療。
・閉塞性動脈硬化症などが対象。患者は国内で年約 15 万人。
・治療費は１人 200 万～300 万円。
・白血病などのがんを治療する「キムリア」の承認も了承。
・免疫細胞に遺伝操作を加えがんへの攻撃力を高める仕組み。
・若年の白血病患者で８割に治療効果。
・両新薬とも保険適用される見通し。
※遺伝子治療：遺伝子を体内に入れることで病気を治す薬。遺伝子の異常が原因となる血友病やがんといった難病の治療に適していると期待を集めています。

（2019 年２月 21 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

（９）目の難病、３月から治験　　京大

網膜色素変性症　　服薬で進行抑制

・京都大学は、目の難病で進行すると失明する網膜色素変性症の進行を抑える治療法の医師主導による臨床試験（治験）を３月１日に始めると発表。
※網膜色素変性症：網膜にある細胞が死ぬことで起きます。視野が狭くなるなどの症状から徐々に進行して最終的には失明します。患者や国内で３万人。現在、進行を抑える治療法はありません。

（2019 年２月 22 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

“たろうの店　きごころ”　　山忠木材株式会社
大阪市大正区千島３－１８－９　ＴＥＬ０６－６５５２－０７８１

テーマは 「優しさ」 福祉について考えます。 優しさ通信ＮＯ． 6

ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

（１０）認知機能低下招く虚弱防げ

高齢者、たんぱく質多く　　厚労省　摂取目標上げへ

・厚生労働省は、65 歳以上の高齢者が 1 日に摂取するたんぱく質の目標量を引き上げる食品摂取基準に関する報告案を示しました。
・たんぱく質が不足すると、高齢者は筋肉が衰えるなど「フレイル」（虚弱）という状態に陥りやすく、運動・認知機能が低下。
・ 2020 年版の摂取基準では、65 歳以上は総エネルギー量の「15～20%」を目標に。
・推奨量として 65 歳以上では男性で「1 日当たり 60g」、女性で「同 50g」。
・たんぱく質の取り過ぎは腎臓の状態を悪化させたり、糖尿病のリスクを高めたりする可能性があり、総エネルギー量に対して 20%の上限。

「体重 1kg で 1g 以上を」摂取量目安に

・65 歳以上の高齢者は体重 1kg 当たり少なくとも 1g 以上のたんぱく質の摂取が望ましいとしました。

（2019 年 2 月 23 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

（１１）電動自転車　高齢者事故多く

思わぬ加速・止まり切れず･･･　衝突・転倒死も　「特性理解を」

・電動自転車は通常の自転車より車体が重く、加速やブレーキなどで注意が必要。
・認知機能の低下によって事故回避の操作が遅れてしまう恐れ。
・電動自転車は時速 20 キロ以上のスピードを出すことができます。
・モーターによる補助力は、最大で人がこぐ力の 2 倍。道路交通法に基づき 24 キロ以上では補助が働かないようになっています。
・思った以上にスピードが出てしまう恐れ。
・車体が 20～30 キロ程度と重いため、ブレーキをかけて止まるまでの距離が長くなったり、低速で不安定になったり。

“たろうの店　きごころ”　　山忠木材株式会社
大阪市大正区千島３－１８－９　ＴＥＬ０６－６５５２－０７８１

ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

・急発進する危険も。
・電動自転車が当事者となった人身事故は 2018 年、全国で 2243 件発生。過去 5 年間で 1.7 倍に。
・死者が出たのは 46 件で、うち 37 件の運転者は 65 歳以上。

販売 10 年で 2.4 倍　高齢者の「足」に

・電動アシスト自転車は 1993 年に国内初の製品が発売。
・ 2018 年の国内販売台数は約 667,000 台。2008 年と比べると約 2.4 倍に。

☆電動アシスト自転車を安全に利用するポイント

自転車協会の安全基準（ＢＡＡ）などを満たした製品を選ぶ
安全な場所で練習する
両足を地面に置き、ブレーキをかけながら電源を入れる
片足をペダルに乗せて発進する「ケンケン乗り」をしない
坂道は立ちこぎせず、座ったままペダルを踏む
停止する際は両足を地面につける

（2019 年 2 月 26 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

（１２） 踏切死亡事故　高齢者 53%　　5 年分調査

運輸安全委　　遮断機のない場所で　　予算不足　改良進まず

・運輸安全委員会は、遮断機のない踏切で起きた過去 5 年分の死亡事故 34 件を分析した結果、65 歳以上の高齢者が 53%（18 件）を占めたと公表。
・警報機や遮断機を整備する必要があると指摘。
・ 20～39 歳が次いで多く 26%（9 件）。
・身体障がいのある人の事故も 6 件。
・最も多いのは歩行中の 13 件。次いで自動車（12 件）、原付バイク（5 件）、自転車（4 件）。
・ 2017 年度末時点で全国に第 3 種（遮断機がない）が 723 箇所、第 4 種(遮断機と警報機がない)は 2726 箇所。
・踏切の整備には財源が十分に確保できなかったり、近隣住民が警報機の光や音に反対したりするケースも。

（2019 年 2 月 27 日　日本経済新聞記事より抜粋・引用）

“たろうの店　きごころ”　　山忠木材株式会社
大阪市大正区千島３－１８－９　ＴＥＬ０６－６５５２－０７８１

テーマは 「優しさ」 福祉について考えます。　優しさ通信ＮＯ．　8

ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

今月の福祉用具－起居関連用具　その３

ベッド　その３　　ベッドの機能

①背上げ機能

・背ボトム（板）が 70 度から 75 度程度起き上がり、自分で起き上がるのが困難になってきたときの起き上がりを補助します。

②膝上げ機能

・膝上げは高齢者の足のむくみや疲労回復に効果的。背上げをしたときに身体が足側に滑ることを防ぐために使用します。

③昇降機能

・立ち上がりやすい高さにします。端坐位を安定させるために利用者の下腿長に合わせた高さにします。

（参考：福祉住環境コーディネーターテキスト＆福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより

“たろうの店　きごころ”　　山忠木材株式会社

大阪市大正区千島３－１８－９　ＴＥＬ０６－６５５２－０７８１

テーマは 「優しさ」 福祉について考えます。　優しさ通信ＮＯ．　9

ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

“たろうの店　きごころ”　　山忠木材株式会社

大阪市大正区千島３－１８－９　ＴＥＬ０６－６５５２－０７８１